



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993 東証第二部)
 問 合 せ 先 財務経理部長 大村 正文
 (TEL. 03-6451-4300)

平成 30 年 3 月期の通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 9 日に公表した平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想数値と実績において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値の差異について

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,242	914	249	△319	△3.18
今回実績値 (B)	20,452	699	10	△790	△7.87
増減額 (B-A)	210	△215	△239	△471	△4.69
増減率 (%)	1.0	△23.5	△96.0	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	20,556	493	△180	△287	△3.56

(2) 差異発生 of 主な理由

営業利益及び経常利益

当社の連結子会社である S F L (Speedloan Finance Limited) グループにおいて、2016 年より Gordon Brothers Finance Company (以下、「GBFC」といいます。) より、10 百万英ポンド (円換算額約 15 億円) を借り入れておりますが、当該借入金の金利は 10% 程度の高金利であるため、早期に返済することを第 4 四半期に意思決定しております。そのため、SFL の在庫を早期に処分することにより、返済資金の確保に努めております。その結果、商品を薄利で販売したことにより、売上高は当初予想を上回ったものの、売上総利益が予想よりも減少しました。また、SFL において昨年 11 月より利用を開始した新基幹システムにおいて、当初想定していなかった運用面の問題点が第 4 四半期に入り発生し、問題解消のために、専門家に依頼したコンサルタント費用が追加で発生(37 百万円)したこと等から、販売費及び一般管理費が想定を上回りました。これらの結果、営業利益及び経常利益は減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

平成 30 年 3 月 9 日に公表しました「特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である S F L (Speedloan Finance Limited) グループに係るのれんの一括償却費 363 百万円を特別損失に計上しました。これに前述の減益要因を加えた結果、親会

社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を下回りました。

以上